

和歌山県和歌山市 婦人防火クラブ連合会

和歌山県和歌山市婦人防火クラブ連合会
会長 須佐 光佐子



和歌山市婦人防火クラブは、家庭での火気を扱う機会の多い女性が「わたしたちの手で火災をなくそう」という自主精神により、火災予防活動の円滑な推進と発展を図ることを目的として、火災予防の知識の習得、地域住民に対する防火啓発、初期消火の訓練など家庭防火に役立つ活動を行うものとして結成されました。

地域住民に対する火災予防知識の普及啓発をはじめ、消火器の取扱訓練などの実演を通して火災予防技術の向上に貢献しています。住宅用火災警報器の設置では、イベントを通じた呼びかけや地域で住宅用火災警報器を共同購入するなど、積極的な設置促進運動に取り組んでいます。

また、防災面に関しても地域から期待を受けるようになり、非常持出品の準備や避難先の確認、応急救護訓練の実施、消防団と連携した地域の防災訓練への参加を行い、地域住民の避難誘導を支援するなど、その期待される活動の場はますます広がっています。

近年の具体的な活動としては、コロナ禍もあり多くの活動はできていませんが、令和4年度は婦人防火クラブ連合会の研修として、外来講師をお招きし、防災減災セミナー、心肺蘇生法、止血法について受講いたしました。

火災予防運動では商業施設等で街頭防火広報を展開して、訪れた方に防火啓発品をお渡しして防火を訴えました。

今後も、今まで以上に街頭防火広報や訓練に取り組み、地域や各家庭からの災害の発生を抑制し、誰もが安心して住み続けられるまちを作るように尽力して参ります。



福岡県那珂川市中原区 自主防災・防犯会

福岡県那珂川市中原区自主防災・防犯会
代表者 江口 和隆



中原区は博多南線新幹線車両基地用地となったブドウ畑の丘陵地帯を含み、昔は取水に苦勞するような田畑が大半の地域でした。防災マップにおいても中原区は洪水浸水規定区域に該当する地域はほとんどありませんが、世帯数は約1,800戸、人口は約4,100名と那珂川市37区の中でトップクラスの人口密集地域となっているため、防災訓練の重要性は高いです。

自主防災・防犯会の総会構成員は約70名と多く、評議員や代議員、連絡員、各団体長まで組織化し有事に区民へ迅速な連絡ができるようにしています。また、コロナ禍前までの防災訓練は共助を中心に、初期消火訓練や避難誘導支援、救出・救護、炊き出し訓練などを実施。近年は自助を中心とした避難ルートの検証や、非常備蓄・持ち出し品の確認、防災情報の入手方法確認などを実施しています。

大規模火災や地震を想定した避難、避難所運営などの訓練が必要と考えていますが、女性を含む自主防災リーダーの育成や体制の強化が課題となっています。

